

お知らせ

記者発表資料	令和3年7月19日（月）
	令和3年8月24日 数値訂正

■同時発表先：島根県政記者会
 出雲市政記者クラブ

令和3年7月12日の梅雨前線による降雨における 斐伊川放水路、尾原・志津見ダムの効果について【速報】

令和3年7月12日（月）の梅雨前線にともなう降雨の影響で、斐伊川流域では降り始めからの流域平均累加雨量が108.9mmを記録し、灘分水位観測所等で氾濫注意水位を超過する出水となりました。

今回の出水では短時間の豪雨により、令和3年7月12日に斐伊川放水路へ過去最大となる約810m³/sを分流しました。（平成25年6月完成以降通算で14回目の分流）

斐伊川では、斐伊川放水路と尾原ダムを運用することにより、斐伊川下流（灘分）で109cm、松江地点（宍道湖）で23cmの水位低減効果があったと推定されました。結果として、灘分水位観測所では避難指示の目安となる氾濫危険水位超過を回避しました。

また神戸川では、志津見ダムの運用と河川改修により、馬木地点にて63cmの水位低減効果があったと推定されました。

※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

斐伊川放水路分流堰付近（7/12 15:50頃）



<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長（技） おおが よしかず
大賀 祥一

副所長（技） ひらい まさゆき
平井 雅之

【担当】計画課長 おおやま りく 璃久（出水の概要に関すること）

管理第二課長 からすだ かずひこ 和彦（施設整備効果に関すること）

0853-20-1761（計画課直通）0853-20-1754（管理第二課直通）

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5-1 電話：0853-21-1850（代表）

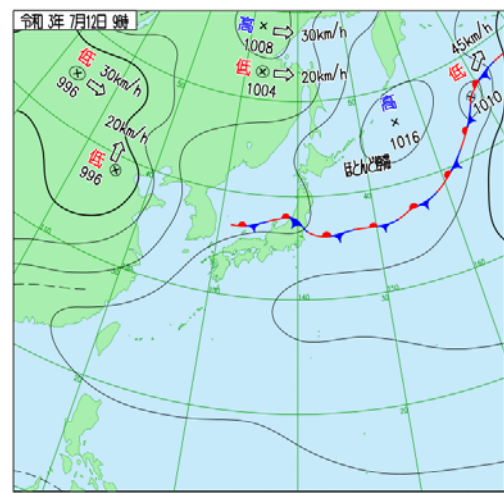
ホームページURL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

令和3年7月12日 梅雨前線の降雨による出水の概要

1. 天気概況

梅雨前線に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、島根県東部では、7月12日午前中を中心に、ところにより激しい雨が降り続いた。

■実況天気図 (気象庁ウェブサイトより)

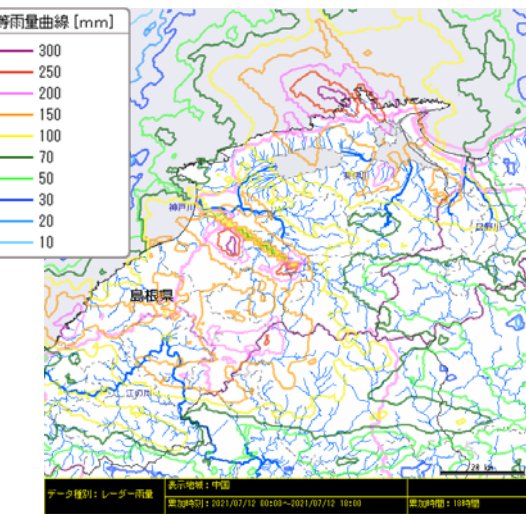


2021/7/12 9:00時点

2. 降雨状況

斐伊川流域では7月12日の午前中を中心に激しい雨が降り、斐伊川流域平均累加雨量が108.9mmを記録した。

■等雨量曲線図 (国土交通省作成)



累加時刻:2021/7/12 0:00~7/12 18:00
累加時間:18時間

3. 出水状況

木次観測所(28.4k) 平常時



7/12 14:00



新伊萱観測所(24.1k) 平常時



7/12 14:20



古志大橋(8.45k) 平常時



7/12 15:50



灘分観測所(4.1k) 平常時

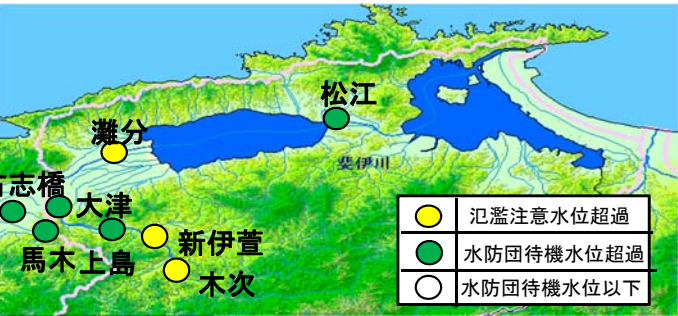


7/12 17:00

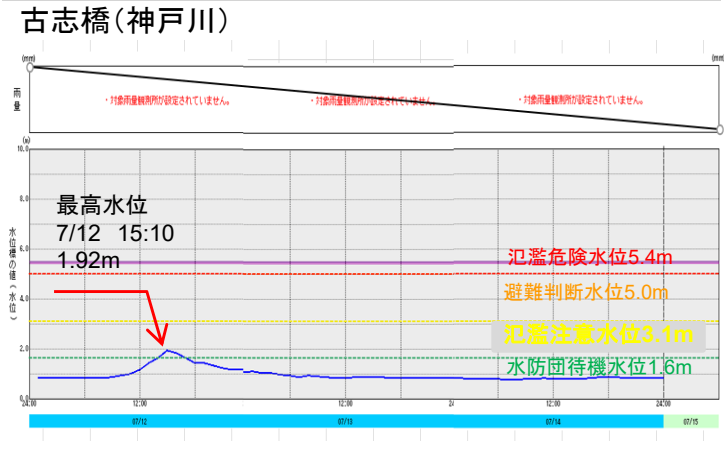
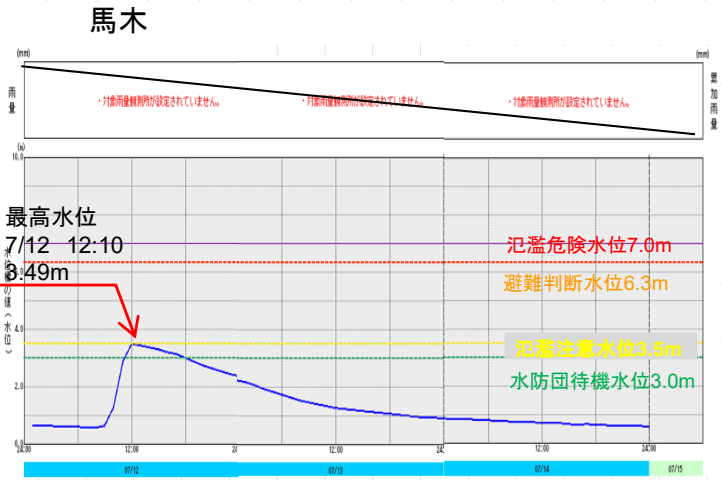
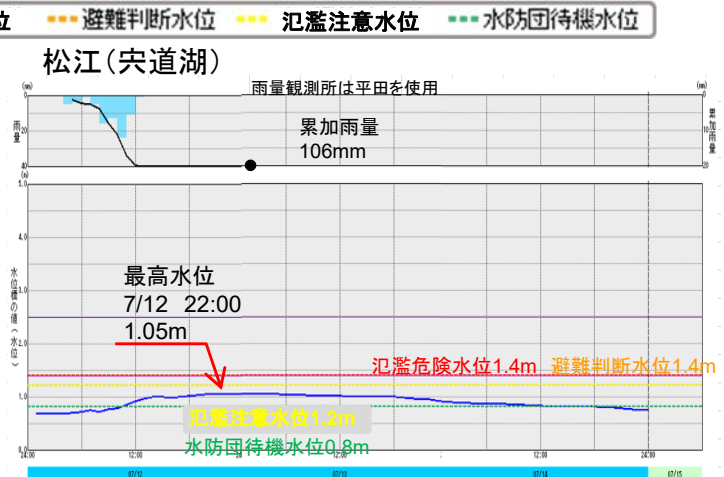
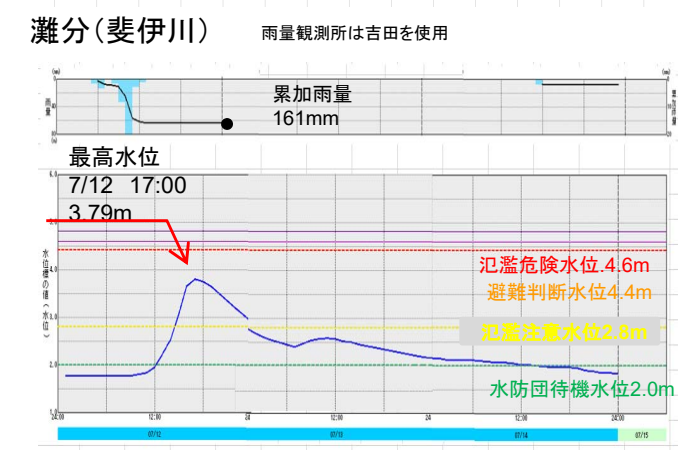
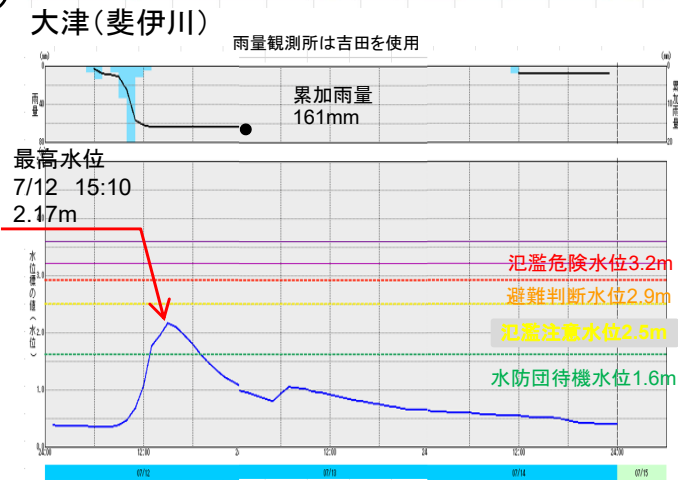
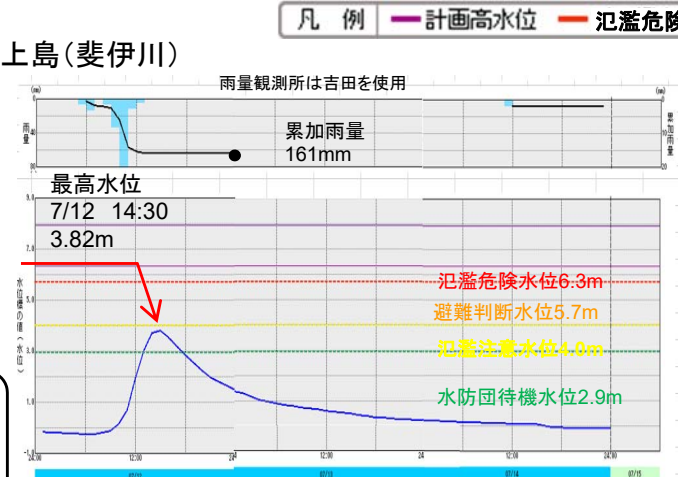
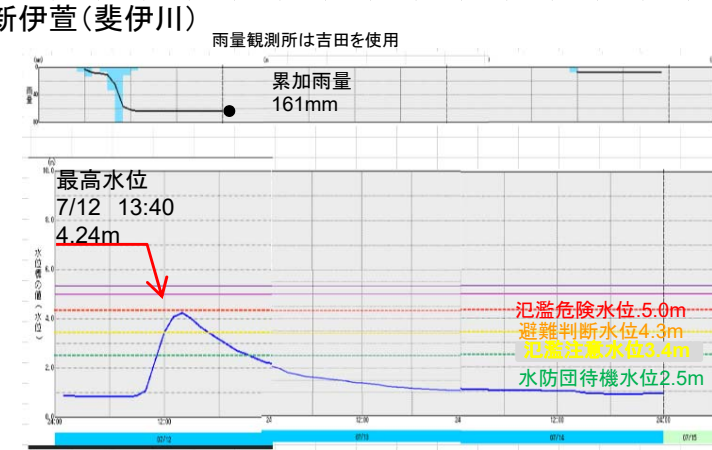
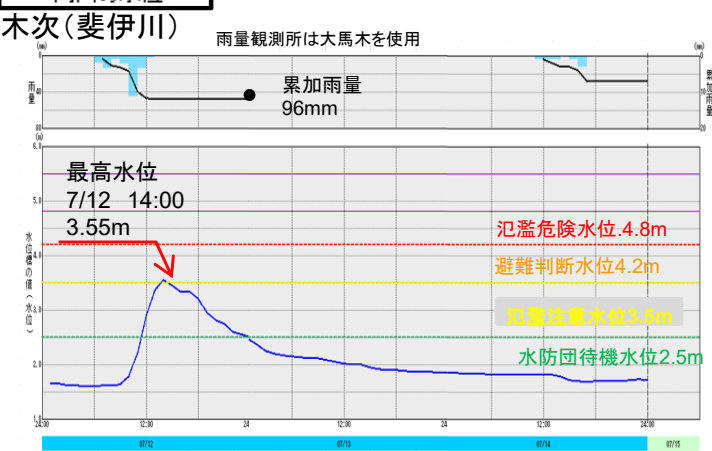


令和3年7月12日 梅雨前線の降雨による出水の概要

4. 各水位観測所の出水状況(国管理)



今回の降雨により氾濫注意水位を超えた観測所は灘分・新伊萱・木次の3箇所。



令和3年7月12日 梅雨前線の降雨による出水の概要

5. 事務所体制履歴

水防時の河川水位（高潮含む）及び尾原ダム、志津見ダム等の状況に応じて、事務所支部において注意体制、警戒体制をとっております。

日時		体制	理由
7月12日	8時30分	注意体制	出雲河川事務所管内で大雨警報が発表されたため。
7月12日	12時10分	警戒体制	新伊萱水位観測所の水位が氾濫注意水位に達し、なお水位上昇のおそれがあるため。
7月13日	1時50分	注意体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位を下回り、水位上昇のおそれがなくなったため。
7月14日	20時40分	解 除	松江水位観測所の水位が水防団待機水位を下回り、今後、水位上昇のおそれが見込まれないため。

6. 水防警報発表履歴

洪水や高潮による災害が発生するおそれがある場合に、水防団などに活動の目安となる水位等の情報を提供しました。

河川名	水位観測所名	待機	準備	出動	指示	待機	解除
斐伊川	木次	7月12日 11時50分	7月12日 13時00分	7月12日 13時40分			7月13日 00時30分
斐伊川	新伊萱	7月12日 11時30分		7月12日 12時10分			7月12日 21時40分
斐伊川	上島	7月12日 13時10分	7月12日 14時00分				7月12日 18時00分
斐伊川	大津	7月12日 13時10分	7月12日 14時40分				7月12日 19時20分
斐伊川	灘分	7月12日 12時30分	7月12日 14時00分	7月12日 15時00分		7月13日 19時30分	7月14日 14時50分
宍道湖	松江	7月12日 10時40分	7月12日 22時40分			7月13日 19時30分	7月14日 20時30分
中海	中海湖心	7月12日 14時40分					7月12日 18時20分
神戸川	馬木	7月12日 11時30分	7月12日 13時50分				7月12日 18時10分
神戸川	古志橋	7月12日 14時20分					7月12日 17時30分

7. 洪水予報発表履歴

洪水が発生するおそれがある場合に、気象庁と国土交通省が共同で雨量や水位の情報を周知しており、この度の出水で斐伊川では、木次、新伊萱、大津、灘分水位観測所で氾濫危険水位に到達すると見込まれたため、**斐伊川氾濫警戒情報**を発表しました。

予報番号	種類	発表日	発表時刻	河川名
1	斐伊川氾濫警戒情報	7月12日	11時30分	斐伊川
2	斐伊川氾濫注意情報（警戒情報解除）	7月12日	20時50分	斐伊川
3	斐伊川氾濫注意情報解除	7月13日	1時50分	斐伊川

参考

レベル	水位など	基準水位観測所における設定水位の意味 （危険な箇所を設定した以下の水位を、基準水位観測所地点の水位に置き換えて設定）
5	氾濫の発生	
4 （危険）	氾濫危険水位 （特別警戒水位）	【氾濫危険水位】（特別警戒水位） ・市町村長の避難指示の発令判断の目安 ・住民の避難判断の参考になる水位 （水位設定の考え方） 堤防等の構造の基準となる水位（計画高水位）若しくは、リードタイム（避難完了までに、避難指示の発令、情報伝達及び避難等に要する時間）から設定される水位のいずれか低い水位
3 （警戒）	避難判断水位	【避難判断水位】 ・市町村長の高齢者等避難の発令判断の目安 ・住民の氾濫に関する情報への注意喚起
2 （注意）	氾濫注意水位 （警戒水位）	【氾濫注意水位】 ・水防団の出動の目安
1	水防団待機水位	

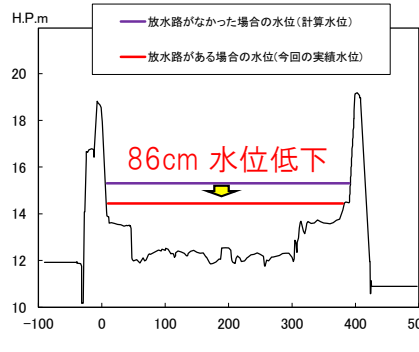
おばら しつみ ひいかわ ほうすいろ 尾原ダム、志津見ダム及び斐伊川放水路の整備効果

速 報

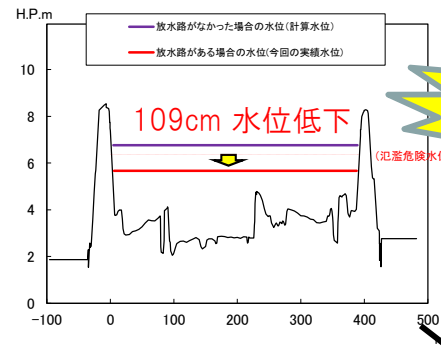
- 斐伊川放水路では、分流を実施し、最大毎秒約810m³を分流。斐伊川本川下流の灘分観測所で、ピーク水位を109cm、松江観測所で23cm低減したものと推定。
- 尾原ダムでは、最大流入量毎秒約298m³時に毎秒約155m³低減し、ダム下流の木次観測所地点で、ピーク水位を32cm、新伊萱観測所地点でピーク水位を18cm、上島観測所地点で、ピーク水位を15cm低減させる効果があったものと推定。結果として、灘分観測所で避難指示の目安となる氾濫危険水位超過を回避。
- 志津見ダムでは、最大流入量毎秒約492m³時に毎秒約208m³低減し、ダム下流の馬木観測所地点で、ピーク水位を63cm、古志橋観測所地点で、ピーク水位を10cm低減させる効果があったものと推定。

観測所名	ピーク水位低減量
木次(きすき)	32 cm
新伊萱(しんいがや)	18 cm
上島(かみしま)	15 cm
大津(おおつ)	86 cm
灘分(なだぶん)	109 cm
松江(まつえ)	23 cm
馬木(まき)	63 cm
古志橋(こしばし)	10 cm

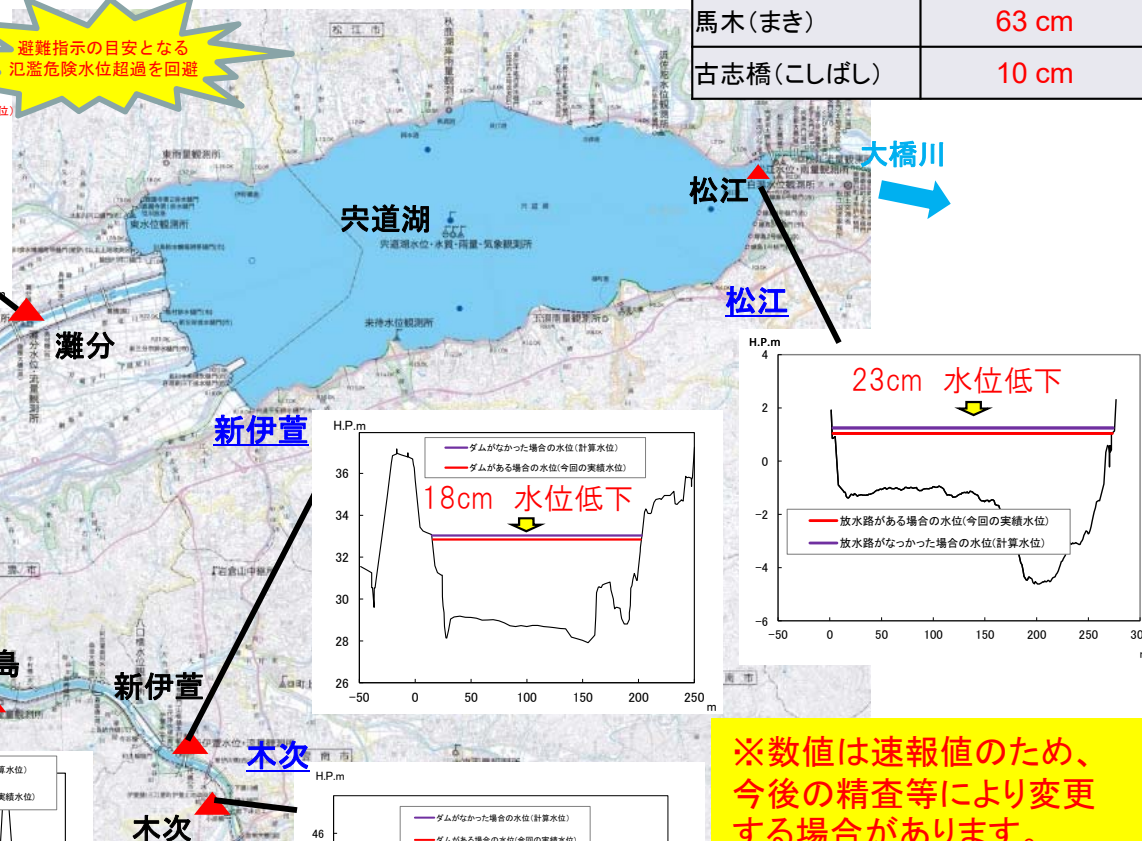
大津



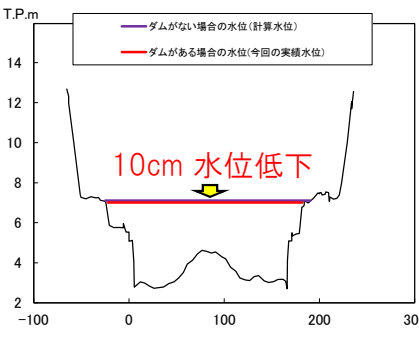
灘分



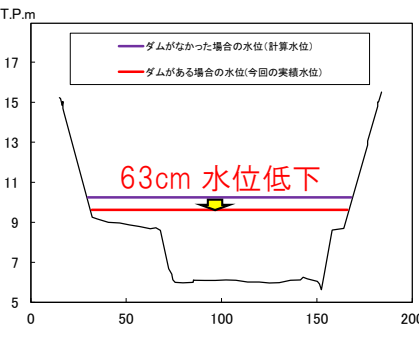
避難指示の目安となる
氾濫危険水位超過を回避



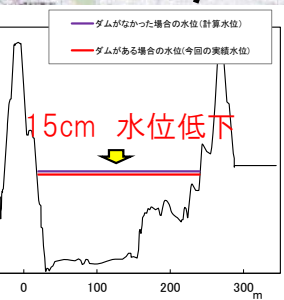
古志橋



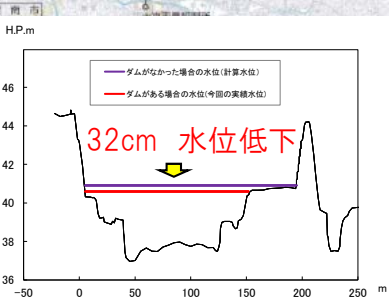
馬木



上島



木次



※数値は速報値のため、
今後の精査等により変更
する場合があります。
ダムなし、ダム・放水路なしの水位は推定値です。

※中央湖湖心観測所は、欠測のため評価していません。

斐伊川放水路の整備効果（令和3年7月12日 梅雨前線）

速報

○過去最大となる $810\text{m}^3/\text{s}$ を斐伊川放水路へ**分流**し、**斐伊川本川下流への洪水流量を低減**しました。
神戸川は、大きな水位上昇もなく、安全に洪水を流すことが出来ました。

＜今回の出水による斐伊川放水路の運用状況について＞

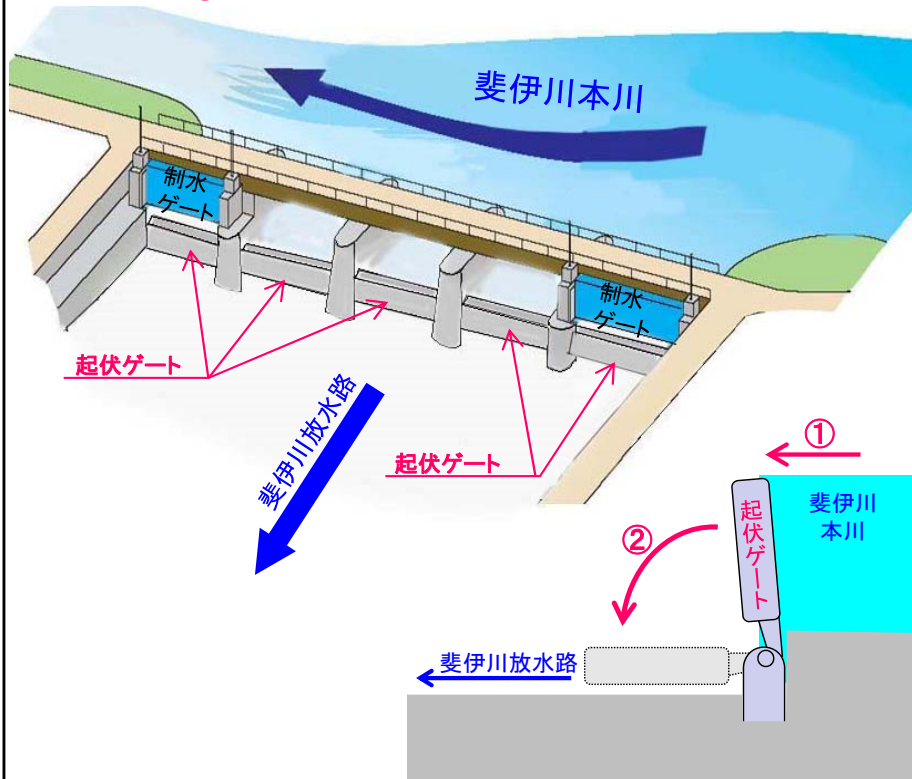
■ 7月12日

□ 斐伊川放水路への分流

- ・ 7月12日12時00分頃に分流（自然越流）が始まりました。
- ・ 7月12日12時35分より分流堰起伏ゲートの倒伏操作を開始。
- ・ 7月13日 6時10分頃に分流が終了。

※分流は分流堰地点の流量が

- ①毎秒 400m^3 程度で斐伊川放水路に越流開始します。
- ②毎秒 500m^3 でゲートの倒伏操作を開始します。



	分流開始	分流終了	斐伊川本川 (上島観測所) 最大流量	最大分流量
1回目	平成25年 9月 4日 5時30分頃	平成25年 9月 5日 4時10分頃	約 $1,250\text{m}^3/\text{s}$	約 $550\text{m}^3/\text{s}$
2回目	平成25年10月24日 15時30分頃	平成25年10月25日 23時20分頃	約 $530\text{m}^3/\text{s}$	約 $200\text{m}^3/\text{s}$
3回目	平成26年 8月17日 12時50分頃	平成26年 8月18日 0時10分頃	約 $700\text{m}^3/\text{s}$	約 $270\text{m}^3/\text{s}$
4回目	平成26年10月13日 23時45分頃	平成26年10月14日 4時52分頃	約 $440\text{m}^3/\text{s}$	越流のみ※
5回目	平成29年 9月17日 22時27分頃	平成29年 9月18日 15時40分頃	約 $750\text{m}^3/\text{s}$	約 $290\text{m}^3/\text{s}$
6回目	平成29年10月22日 21時30分頃	平成29年10月23日 18時15分頃	約 $1,200\text{m}^3/\text{s}$	約 $470\text{m}^3/\text{s}$
7回目	平成30年 7月 5日 19時56分頃	平成30年 7月 7日 23時 5分頃	約 $1,550\text{m}^3/\text{s}$	約 $590\text{m}^3/\text{s}$
8回目	平成30年 9月30日 10時35分頃	平成30年10月 1日 16時00分頃	約 $1,700\text{m}^3/\text{s}$	約 $670\text{m}^3/\text{s}$
9回目	令和 2年 6月13日 14時25分頃	令和 2年 6月13日 23時00分頃	約 $630\text{m}^3/\text{s}$	約 $210\text{m}^3/\text{s}$
10回目	令和 2年 6月14日 8時55分頃	令和 2年 6月14日 14時00分頃	約 $480\text{m}^3/\text{s}$	越流のみ※
11回目	令和 2年 6月14日 17時38分頃	令和 2年 6月15日 3時50分頃	約 $730\text{m}^3/\text{s}$	約 $240\text{m}^3/\text{s}$
12回目	令和 2年 7月14日 0時50分頃	令和 2年 7月14日 18時51分頃	約 $1,130\text{m}^3/\text{s}$	約 $370\text{m}^3/\text{s}$
13回目	令和 3年 7月 7日 10時11分頃	令和 3年 7月 7日 10時30分頃	約 $410\text{m}^3/\text{s}$	越流のみ※
14回目	令和 3年 7月12日 12時00分頃	令和 3年 7月13日 6時10分頃	約 $2,190\text{m}^3/\text{s}$	約 $810\text{m}^3/\text{s}$

※ 堰を越流したのみで、ゲートは倒していません。

斐伊川放水路分流堰(7/12 16:10頃)



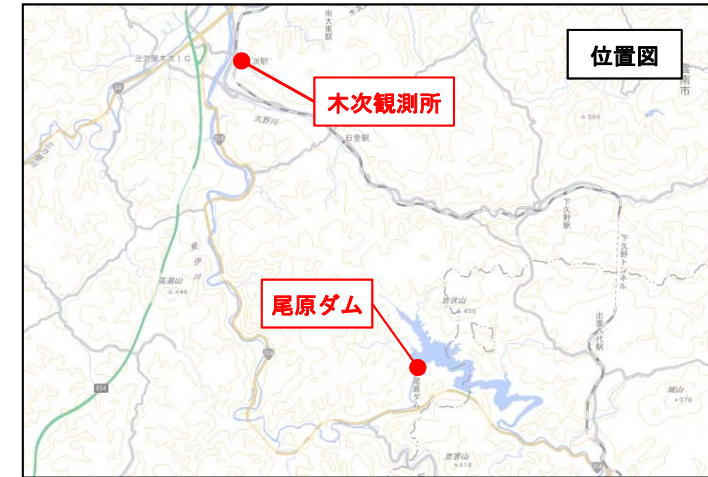
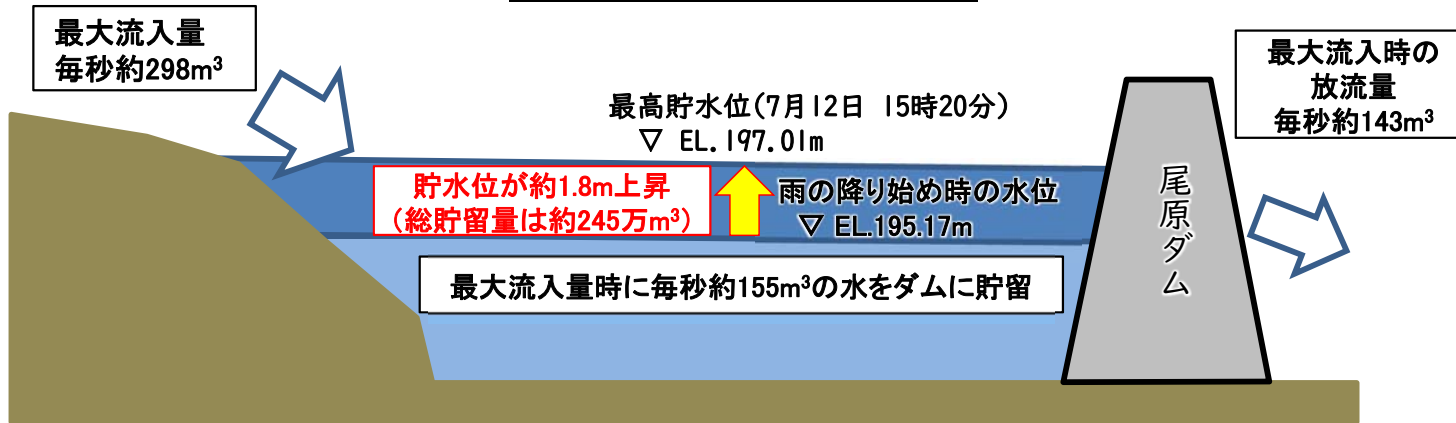
斐伊川放水路分流状況

尾原ダムの整備効果（令和3年7月12日梅雨前線）

速 報

- 尾原ダム上流では、流域平均累加雨量82mmを記録しました。
- 今回の降雨による尾原ダムへの流入量は**最大毎秒約298m³**に達し、この際**毎秒約155m³**を尾原ダムに貯留しました。今回の操作により、尾原ダムに貯留した洪水は**最大約245万m³**(25mプールの約6,800杯分)です。
- その結果、尾原ダム下流の木次観測所地点(雲南市木次付近)で**ピーク水位を32cm低減させる効果**があったものと**推定**。

尾原ダムにおける貯留状況



※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



尾原ダムにおける整備効果

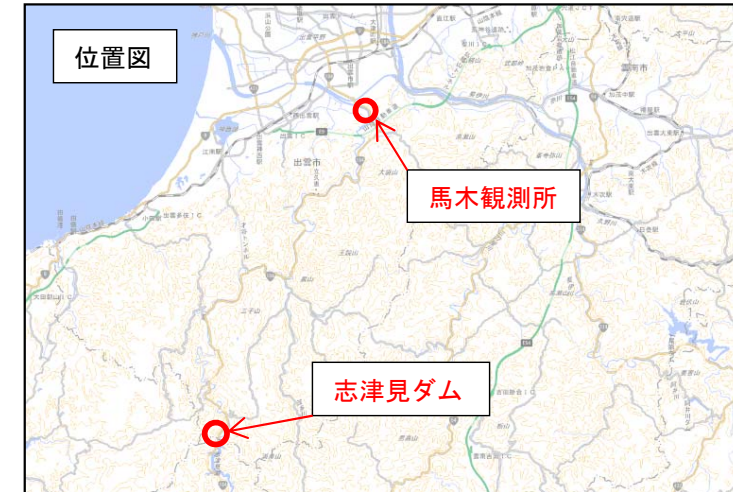
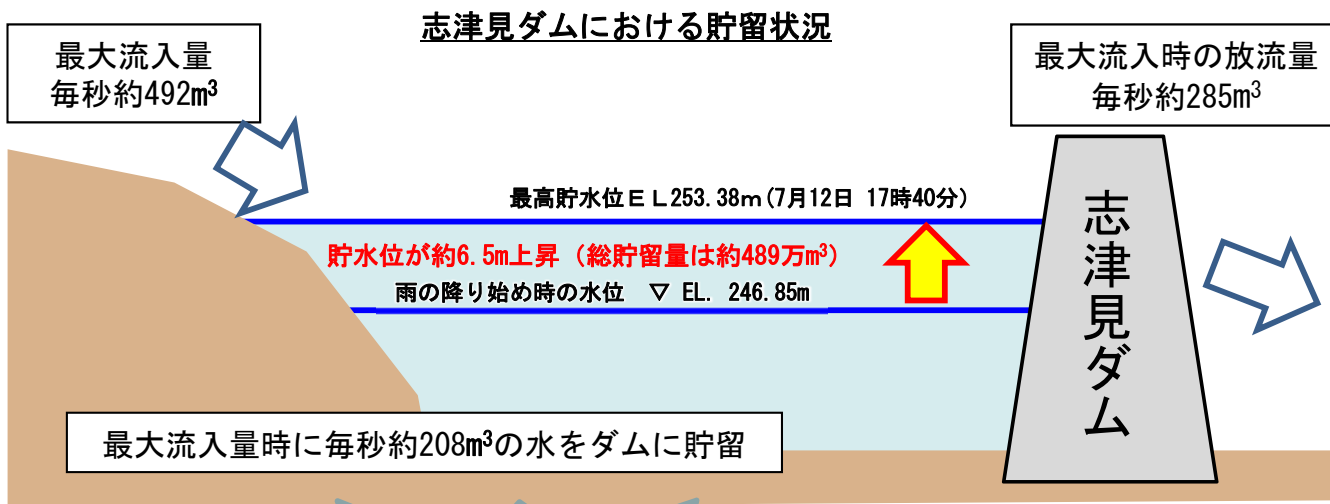


木次観測所地点の水位状況(雲南市木次町付近)

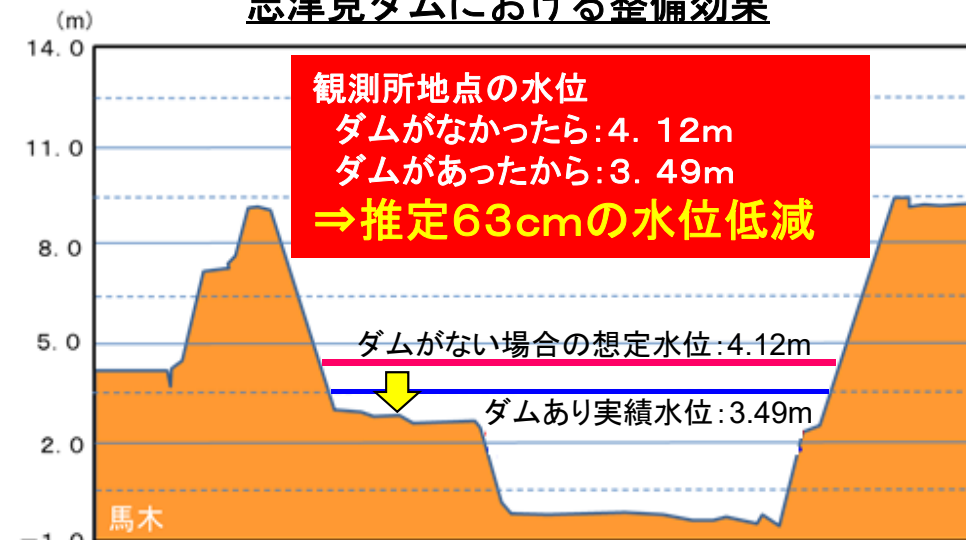
志津見ダムの整備効果（令和3年7月12日梅雨前線）

速 報

- 志津見ダム上流では、流域平均累加雨量 **174mm** を記録しました。
- 今回の降雨による志津見ダムへの流入量は**最大毎秒約492m³**に達し、この際**毎秒約208m³**を志津見ダムに貯留しました。
- 今回の出水により、志津見ダムに貯留した洪水は**最大約489万m³** (25mプールの約13,600杯分)です。
- その結果、志津見ダム下流の馬木観測所地点（出雲市馬木付近）で、**ピーク水位を63cm低減させる効果があったものと推定**。
- * 志津見ダム運用開始後初の洪水調節（流入量が洪水量180m³/s以上）を行いました。



志津見ダムにおける整備効果



馬木観測所地点の水位状況（出雲市馬木付近）

※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。